WEEKLY SingaLife
保存版

2024年 シンガポール学習塾特集

- Singapore Cram School Special Issue -

CONTENTS

シンガポールの各塾に聞いてみました！

学力だけでなく、学生の多面的な能力や人間性を評価される多様な入試形態について

オービットは
30年以上の実績とノウハウをもつ
海外生専門グローバル型進学塾です

シンガポールの学習環境を活かした受験準備と進路選択を
トータルサポートできるのは、オービットだけです。

満仲 孝則 教室長

海外生専門進学塾のパイオニアとして、国内の学校からも高い評価を得ている「オービット」。その指導方針と高い評価の理由について、満仲教室長にお話をうかがいました。

Q: 「海外生専門グローバル型進学塾」としての使命を教えてください。

A: オービットは開校以来、30年以上にわたってグローバル教育を推進、実践してきました。受験対策に特化した日系塾とは異なり、**海外生への教育を専門に取り組んできた塾として、早くから日本型の教育や受験指導に大きな危機感**をもってきました。社会のグローバル化やAI（人工知能）の急速な進展により、今後10数年のうちに現在の職業の約半数がAIに代替されるとの各種分析もあるように、私たちが子どもの頃に常識だったことが劇的に変わり、社会が求める人材像が変わってきています。これまでは、いかに多くの知識をインプットし、そしていかに速く正確にアウトプットできるかが「頭がいい人」かどうかの評価軸であり、その能力の高い人が学校や社会で評価されていました。しかし今では、前例のない課題に対してその問題の本質を見抜き、幅広く情報を収集し、自らの頭で解決法を考え、相手に論理的に伝達し周囲を巻き込んで実現に移せる人が社会において求められています。まさに**オービットの指導方針のひとつ「PISA型学力」そのもの**です。実際に、思考・判断・表現力を問う「大学入学共通テスト」の導入や総合型選抜の拡大などの入試制度改革にみられるように、**まさに今、求められる学力観や評価軸が大きく変わる転換期にある**のです。

また、英語力についても、**文化・民族・宗教的背景が異なる世界のエリートと対等にわたり合えるためのアカデミックレベルでの英語力**が求められています。試験での得点力を上げるための学習や単なる英会話ではなく、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能のバランスの取れた英語力です。実際に中学入試の一般枠においても英語の導入が進み、高校・大学入試においてはTOEFLなどの4技能型試験の導入が急速に進んでいます。

これらの求められる能力・人材像は、海外で働いている保護者の方が日々実感されている点ではないでしょうか。多感な小中高時代にシンガポールに滞在できるという人生最大のメリットを活かしながら、グローバル時代に必須の**「PISA型学力」**と**「4技能型英語力」**を身につけて進路を実現する学習環境と方法論を提供し、グローバル社会で活躍できる人材を育てるのが、**私たち海外生専門進学塾「オービット」の使命**だと思っています。

Q: 具体的にはどのように授業が行われていますか？

A: 「PISA型学力」を養成するために、算数/数学・国語の授業では**原則として日本人学校生とインター校生とを混ぜて授業**を行っています。また、全学年・全科目において**インタラクティブ（双方向）授業**を実践しています。これは私たちの経験上、確信して言えることですが、**日本人学校生、インター校生双方にとって「実は学習効果が非常に高い」**のです。

オービットに通う生徒は、**日本人学校生とインター校生の比率がちょうど半々くらいでバランスがよく、しかも22校もの学校の生徒**がいます。多様な学校から集まっているため、子どもたちが相互に存在を認め合い、互いの意見や多様な価値観を尊重しながら刺激を与え合う環境が出来上がっています。また、日本の学校や塾のような同調圧力が高い空間で講師が一方的に話し、生徒は黙って受け身で話を聞いている、という光景は一切ありません。学習歴や思考特性が異なる生徒が集まる環境で、**講師は積極的な発言を引き出し、生徒は質問や意見を発表し議論することで本質的な理解を深めることができます。**「みんな違って当たり前」という前提なので、変わった意見であっても周囲に新しい発想の気づきを与え、仮に間違えたとしてもそれは恥ずべきことではないという共通認識がもてるのです。**オープンマインドを身につけ、自分に自信をもてる自己肯定感を高めることで学力を伸ばせる理想的な学習空間**になっています。

実際に、日本人学校では授業中もおとなしい子でも、オービットでは積極的に発言していて、その違いに保護者の方が驚かれたりすることがよくあります。また、インター校生でも、日本人学校生以上に高い日本語運用能力を身につけているくらいです。このようにオービットは、**多様性の確保された学習空間なので、グローバル社会で必要なマインドセットを身につける上でも抜群の環境**だと確信しています。

また、4技能型英語力をバランスよく効果的に身につけるために、**英語の授業では日本人学校生用とインター校生用に分けて**います。小学部英語や日本人中用英語クラスでは、子どもの発達段階や英語学習歴、在籍校に応じたクラスを用意し、日本人講師とネイティブ講師によるチームティーチングにより、効果的に4技能型英語力を身につけられます。そのなかで**ディスカッションやアカデミックライティングを取り入れることで、受験対策だけにはとどまらない高いレベルの英語力**を身につけることができています。

Q: 受験・進路指導はどのようにされていますか？

A: 海外生は海外歴、帰国時期、帰国地がそれぞれ異なるので、**進路先にも多様性が生まれるのは当然**です。海外において同じような進学先を目指させるというのは異質で、主体性を育む学習環境の点でも、個々の生徒の特性を踏まえた進路選択の点でも、望ましい学習空間ではありません。

オービットは日本型の塾のような偏差値重視の進路指導ではなく、**アナログ的な進路指導を重視**しています。そのために保護者の方とも、子どもの特性は何か、子どもをどう育てたいか、などを徹底的にすり合わせさせていただきます。**それぞれの子の成長曲線に合わせて、学習歴、強み、志向などを見極め、受験するかしないかの判断から、どのような学校を選択すれば入学後に伸びるのかの提案まで、将来まで見据えた進路指導**をしています。そこでは海外での学習歴を継続・活かせる環境かどうかといった視点も含みます。その結果として**進学先にも多様性があるのがオービットの特徴**です。

また、生徒たちにも、自分の強み弱みや、なぜその学校に行きたいのか？何を学びどんな職業に就きたいのか？を徹底的に考えさせます。その中で、**将来、社会がどのように変化しているかまでも意識させながら「哲学させる」ことで、主体的な勉強への動機付け**をしています。

オービットは、日本人学校生、インター校生を対象に、中学受験・編入・高校受験・大学受験から、インター校への編入など、**小学生から高校生まで一貫して指導**しているので、**あらゆるケースの進路カウンセリングが可能です。ワンストップでここまでできる塾や教育機関は他にはないと自負**しています。

Q: 最後に、シンガポール在住の保護者の方へのメッセージをお願いします。

A: コロナ禍による日本の社会の混乱は、正解がない中で自分の頭で論理的に考え判断する力の必要性と重要性を図らずも示しました。これは、コロナ禍が何かを変えたのではなく、現在の入試・教育制度改革の流れを加速させたに過ぎません。問われる学力の質も変わっているのですから、偏差値の序列も崩壊し、学校に対する評価軸も大きく変わるでしょう。当然、受験準備や学校選択の仕方も変えるべきです。ましてや国内生とは違ったバックグラウンドをもつ海外生です。物事の価値基準は時代や場所によって大きく変わります。だからこそ、表面的な対策に特化するのではなく、**親世代の経験や価値観を捨てて、時代の変化と教育の本質を冷静に見つめる必要がある**と思います。

また、**グローバル社会の最先端シンガポールにいることのメリットを認識して最大限に活かしてほしい**と思います。**この時代の転換期にシンガポールで学習する機会を得たのは「奇跡的」なこと**です。「**中学・高校・大学につなぐためだけ」の在星経験ではなく、「これからの社会で活躍できる力を養うため」の在星経験にしてほしい**。そのためにも海外ならではの異文化体験や習いごとにも積極的に取り組んでください。受験準備と海外体験を両立しているオービット生は、受験生にありがちな悲壮感といったものがなく、不思議なくらい明るくポジティブに受験勉強を楽しんでいます。そのせいか、日本の学校の先生からも、**オービット出身の帰国生は主体性やコミュニケーション力が高く、受験疲れしていないので入学後に伸びる**、とお褒めの言葉をいただくことがよくあります。これは本当に嬉しいことですね。

ご存知ですか？

ニューノーマル時代の新しい教育とは？

現在日本で進められている教育改革の背景には、従来のような受験での得点力を上げるための「分断教育」では、受験テクニック重視の学力観に陥り、予測不能なグローバル時代とAI社会への対応が難しくなったことにあります。この受験制度の弊害を排除し「高大接続教育」を推進することで、新しい時代に必要な人材を育てることが改革の本質なのです。

これが新しい教育・入試改革の本質です

試験対策的な学びが通用しなくなる！

これまでの日本型教育（入試がゴールの分断教育）	教育改革が目指すこれからのグローバル教育（入試後も意識した継続教育）
知識詰め込み型　演習量重視	PISA 型　論理的思考・表現力重視
試験対策としての英語	学習言語としての４技能型アカデミック英語
偏差値至上主義の受験指導、学校選択	特性や学習歴、志向を重視した進路指導、学校選択

予測不能な時代においては、試験対策的な学びは通用しなくなります。時代の変化を読み、「本質的な学力」を身につけることが重要です。

グローバル型進学塾「オービット」の特長

30年以上の実績とノウハウをもつ海外生専門進学塾「オービット」が、グローバル型の中学・高校から高い評価を得ている理由がここにあります。

POINT❶

グローバル時代に必須の「PISA型学力」を養成し、新しい時代の入試にも対応

知識詰め込み型・演習中心の試験対策にとどまった学習ではなく、入試・教育制度改革の本質を見据えた論理的思考・表現力を養成する**インタラクティブ（双方向）なPISA型授業**

POINT❷

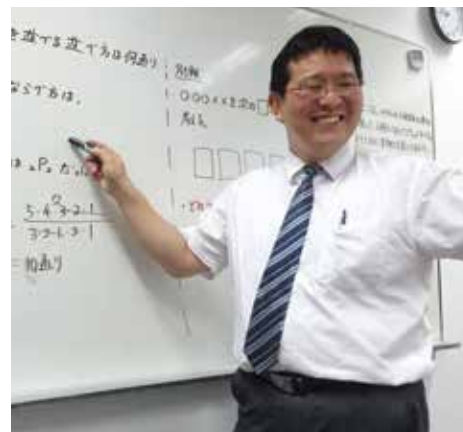
海外在住のメリットを最大化する「4技能型アカデミック英語」指導

日本人学校生、インター校生の学習特性や、英語学習歴を踏まえたコース分けをし、単なる英会話や試験対策ではなく、ネイティブ講師と協働して学習言語としての英語力をアカデミックレベルにまで引き上げる、**完全4技能型指導**

POINT❸

日本人学校生・インター校生それぞれの特性を知り尽くした進路・学習指導

特定の学校だけを志望する同質性の高い環境ではなく、**進路の多様性が確保された理想的な学習空間**と、子どもの個性や学習歴を踏まえたあらゆる進路選択に対応できる**提案型カウンセリング**

先生に聞きました　浜田 教務主任（海外生指導歴20年）

Q. 教育・入試制度改革をはじめとして、予測不能な時代の到来に備えて、シンガポール在住の生徒はどのような学力をつけておけば良いでしょうか？

A. 帰国時期の不透明性や、教育・入試改革による目先への不安が増すと、受験への対応に意識が向きがちですが、実は一番のリスク要因になります。変化の激しい時代においては、与えられた問題をどれだけ解いたかではなく、変化に対しても柔軟に対応できる「学びの上手さ＝本質的な学力・スキル」が求められます。

「本質的な学力」を身につけるためには、

①学習内容に興味・関心を持ち、自発的に学習できる「主体性」を伸ばす意識

②「多様性」の高い生徒たちと協働して様々な経験・発想・思想を共有し、「論理的表現力」を高める環境

③さまざまな知識・技能を自学自習するための支えとなる「思考力」と「試行力」を育める学習法

が必要です。

シンガポールの恵まれた環境を最大限に活かしながら、「受験のためだけ」の学習に止めるのではなく、長期的視野に立って「変化に強い学びのスキル」を身につけることが、進学を成功させる秘訣です。上記①～③と、日本型の手法では通用しない「海外での受験準備」をどのように両立させるか。オービットではそのための方法論を用意しています。

日能研・SAPIX中学部・代々木ゼミナール提携　**オービットアカデミックセンター**

☎6282-6773　51 Cuppage Road #07-18/19 Singapore 229469（センターポイント裏）
コースラインナップ、最新情報はウェブサイトへ　▶ http://orbit.edu.sg

オービットのコースラインナップ

- ●日本人学校生、インター校生それぞれの特性を踏まえたカリキュラムとクラス設定
- ●量より質を重視したスケジュールで、受験準備と英語学習や習いごととの両立が可能
- ●帰国時期の不透明性や、突然の進路方針の変更にもワンストップで対応可能なプログラム

～日本人学校生、インター校生がともに学ぶ学習環境で、グローバル時代の多様な進路を実現～

部	コース	内容
小学部（小3～6）	G（グローバル総合）コース【国・算】	グローバル時代に必須のPISA型学力を養成。帰国枠中学受験・編入や、日本人学校中学部「グローバルクラス」入級などの幅広い進路準備と英語学習、海外体験を両立させる海外生の王道コース
	帰国枠受験クラス	帰国枠受験に向け、ムリ・ムダを省いた短期集中の効率の良い受験対策クラス
	新中学準備コース(小6)	中学生以降の学習に必要な抽象思考・論理性の訓練を通した先取りクラス
	N（日能研）コース【国・算・理・社】	日能研カリキュラムによる志望校に特化した難関4科中学受験対策
	Pre-Advanced English（小3・4）/ Advanced English（小5・6）/ ESLサポート（小4～6）【英】	学習効果を最大化する学校別、学齢別、レベル別のクラス設定と、日本人とネイティブによるチームティーチングで4技能型英語力を効果的に養成。世界標準の英文発声ソフト「MyET」の活用で授業外でも効果的にトレーニング
	Global Class Preparation（小5･6）【英】	日本人中グローバルクラス入級審査対策として、英語でのコミュニケーション力の向上と、英語資格取得のサポート
	中学受験英語（小6）【英】	志望校から逆算した効果的な中学受験英語対策
中学部（中1～3）	G（グローバル総合）コース【国・数・英】	難化する高校受験に対応。早稲田渋谷をはじめとする大学附属高、グローバル型難関高受験、中学編入や、将来のIBDP準備まで対応したハイブリッドコース
	SAPIX数学（ハイレベル選抜）	難関高受験塾SAPIXの教材、カリキュラムを使用したハイレベル数学
	JG（日本人学校生向け英語）	日本人とネイティブによるアカデミックな4技能型指導。ICTソフト「MyET」の活用で日本人学校生の弱点を補強
	IG（インター校生向け英語）	Readingを通した文法学習と進路選択の幅を広げるTOEFLの早期トレーニング
	国語	言語技術アプローチで本質的な読解・記述力を身につけ、新しい高校入試やIBのJapaneseに対応
	グローバル理数（中1・2）	英語による国際標準の数学・理科の学習を実践することで、国際人として世界に通用するレベルでの教養と学力の土台を養成。日本人中「グローバルクラス」の学習にも対応
	English Foundation（中1～高2）	インター中高生のための早期ESL修了を目的とした、日本人講師とネイティブ講師による実用的な文法知識・語彙構築と、正確なWriting Skillの習得
高等部（G9～12）	効率良く学校のスコアを上げ、国内・海外大学受験を成功させる効果的なプログラム。早稲渋高生にも対応	【英】EAP、TOEFL(Preparation/Exercise) 【数】Pre-IB、IB-Math（Level 1～3）、Skill-Up Math 【国】基礎論述、大学入試小論文 【個別指導】IB,IGCSE対策Math、大学受験願書添削指導

各科の指導コンセプト

高い教科専門性と本質的な学力を身につけることで受験にも対応

国語科　論理的思考・表現力を養う、多様性を活かした言語技術プログラム

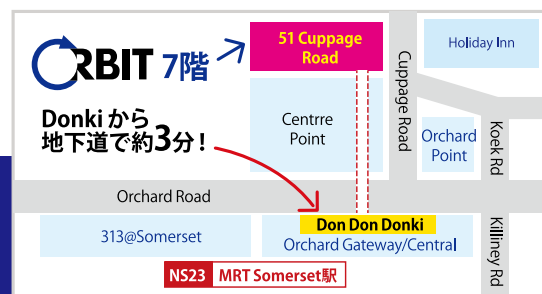
自己の思考を論理的に構築し、他者に正しく伝達するツールとしての言語技術を身につけます。進学塾にありがちな、文章問題の解法を解説する形式の指導では本質的な国語力は身につきません。オービットでは、入試で扱われるようなアカデミックな文章を読み、構造を意識しながら主張・主題を正確に捉えた上で、インタラクティブに議論することを中心に行います。これにより、①他者の意見を正しく読解する力、②自己の意見を構築し論理的に表現する力、③意見の多様性を認める他者意識、④背景知識や文化的教養、語彙を身につけます。日本人学校生とインター校生がともに学ぶことで、より質の高い言語技術教育が可能となっています。

算数/数学科　知的好奇心を高め、将来にも直結する数学力を養成

入試の得点力に直結した算数・数学力だけでなく、進学先や将来の仕事や研究の場でも役立つ力＝数学的リテラシーを養います。授業では算数・数学のカリキュラムの枠を越えた「知的な脱線話」を通して、「科学や経済、統計的研究などの他分野の学習・研究にも役立つ数学力」を身につけます。また、現在の算数・数学の学習と先の単元との繋がりを意識させることで、「中学・高校で挫折しない数学力」を養うことができます。これにより算数・数学の楽しさや面白さを自然に感じられるようになります。オービットでは、この数学的リテラシーの養成と入試での成功の両立が可能となります。

英語科　帰国後も伸びる、在星期間の学習効果を最大化する4技能指導

大学進学時までに、英語による学習・研究・議論・プレゼンができるスキル＝「アカデミックな4技能英語力」を身につけることが目標です。シンガポールの恵まれた環境を活用し、限られた在星期間の学習を最大化することで、帰国後も更に伸びる英語力を身につけます。結果として入試や検定試験において圧倒的な得点力を得られます。
日本人学校生には、アカデミックなテーマをもとに、日本人講師によるトピックリーディングと、ネイティブ講師によるディスカッションやエッセイライティングを通して、効果的に4技能を身につけます。インター校生には、Reading Passageを通して、弱くなりがちな語彙・文法・読解力を鍛え、TOEFLでの早期の高得点取得を目指します。

ORBIT 7階
Donkiから地下道で約3分！
51 Cuppage Road / Cuppage Road / Holiday Inn / Centre Point / Orchard Point / Koek Rd / Orchard Road / Don Don Donki / 313@Somerset / Orchard Gateway/Central / Killiney Rd / NS23 MRT Somerset駅

卒業生に聞きました

ウェブサイトの「卒業生の活躍」も更新中！

末木 杏奈さん（シンガポールチャンギ小→日本人中卒、University College London卒）

オービットでは小4の時から中3まで問題解決のプロセスの大切さを教えていただきました。日本人学校出身の私が海外大学に進学し海外で研究者の道に進んだのも、オービットで日本人学校生だけではなくインター校生とともに議論をしながら、勉強の仕方や答えの背景を探る習慣を楽しく身につけたからだと思います。オービットにいた時ほど勉強を楽しめたのは後にも先にもありません。

坂本 稜太くん（シンガポール日本人中卒、慶應義塾高→慶應義塾大在学中）

合格した開成か慶應か、進学先を決める際に先生から「あなたが満足できるのは進学校ではなく、よりハイレベルな英語学習を継続的にできる大学付属校では」と助言してくれました。実際に慶應に入り高い英語教育を受けられ、充実した高校生活でした。偏差値という基準ではなく、小学生の時はインター校に通っていた自分の特性や、将来の目標をよく理解してくれたオービットの先生の的確なアドバイスに感謝しています。

菊本 陸くん
（シンガポール日本人中→ISS International School卒、慶應義塾大 経済学部PEARLプログラム卒）

大学生になり、オービットに通って良かったと再認識しています。学識レベルが高く面白い先生、多種多様な生徒たちとの「インタラクティブな授業」や、授業中の「アカデミックな脱線話」を通して、様々な学問の考え方、教養を身につけられました。オービットが、日本人中学校・インター校での学習や経験を、大学進学後に必要なスキルや好奇心にまで高めてくれました。オービットはまさしく「受験後も」考えてくれる塾だと思います。

保護者に聞きました

2023秋実施「保護者アンケート」より抜粋

Q.オービットを選んだ理由、他塾にはない教育サービスの良さ・強みについて、率直にお聞かせください。

- ●問題をたくさん解くことよりも、どう考えていけばいいのかをしっかり学んでほしく、また、自分の言葉でしっかり説明できるようになってほしいので、オービットを選びました（小3）
- ●考えさせる、頭を使う授業。個別生徒へのきめ細かいフォロー（小3）
- ●小学生から高校生までの学習を見ておられるので、大学受験までを見据えたアドバイスをしてくださる点は、他塾にあまりないように思います（小4）
- ●先生と生徒のオープンな関係、先を見据えた教育、フォローの手厚さ、帰国枠受験を考えた際の先生方の経験値は他塾にはない強みなのかなと思います（小4）
- ●勉強や子どもの成長に対する考え方がしっかりしていること。表面的な勉強ではなく、子どもの本質的な学力向上を目指していること。セミナーなどの情報共有がとても参考になること（小4）
- ●先生方の熱意をいつも感じて、とても心強く感じています。一人ひとりをよく見てくださっていて、彼女なりに大きく進歩しました。子どもの先生に対する信頼感もいつも感じています（小4）
- ●海外で学習するメリット、デメリットを捉えた指導内容や進路アドバイスが的を射ていて、大変良いと思いました。長く海外の小中学生を指導されている先生方の経験、考え、熱意が信頼できると感じました（小4）
- ●先生から子どもへの一方的な知識の詰め込みではなく、先生方と子ども達が一緒になって授業を作り上げていく雰囲気が、子ども達に「考える力」をつけることができるのではと思いました（小4）
- ●先生と生徒とのコミュニケーションがよく取れている所は、他の塾には無いところだと思います。他の塾の対応より、親切で丁寧、一生懸命に指導に当たっているように感じました（小5・中2）
- ●帰国子女の強みを生かす点。英語の4技能を伸ばす取り組み（小5）
- ●ひたすら問題を解いていく学びではないので、苦手意識を持っていた国語が好きになり、算数はとにかく面白いと言っています。また「海外で生活していることを強みに」のコンセプト通り、英語は英語を学ぶだけではなく、英語で世界や社会に目を向けるきっかけをもらい、視野が広がっている（小5）
- ●とにかく授業が楽しいと娘は申しています。雑学もレベルが高くて、勉強のきっかけになりそうです（小5）
- ●日頃より進路に関してなど親身になって寄り添っていただき大変感謝しております。英語の論文の抜粋を読んだり、理科的要素が含まれた算数の問題といった、他塾ではあまりない学習方法に、大変魅力を感じております（小6）
- ●受験に関する最新の動向は毎回非常に参考になります（小6）
- ●日本国内や海外の教育の最前線をアップデートしていただけるところ。正解、不正解に関わらず、発言の機会をいただけるところ。さまざまな価値観を許容し、子ども達の成長を見ていただける点（小6）
- ●丁寧な学習指導が強みだと思います。他塾と比べ、熱心な先生方が多いと思います。進学、受験情報が豊富な点（小6）
- ●生徒一人ひとりを知ろうと思っていただいていることが伝わる点。上の娘のように性格がおとなしく、問題点の少ない子は経験上どこでもあまり気にかけてもらえないのですが、オービットではそれを感じません（小6）
- ●詰め込み型の勉強ではなく、将来を見すえて思考力などをきたえる学習ができること。学習以外にも先生方のお話から得られるものも多いようです（小6）
- ●授業が面白い。先生方が生徒一人ひとりの個性をよく把握して下さっている。受験対策が素晴らしい（小6）
- ●問題を解くテクニックだけを学ばせるのではなく、なぜそうなるのかという本質的なところを勉強できる点がオービットの面白いところだと思って通っています（中1）
- ●通常時の授業スケジュールに余裕があるのにしっかり結果につながっているところ。一方で、考査前の対策が充実している（中1）
- ●本質的な力を伸ばす教育。インター校での学習と親和性があるところ。保護者会での教育セミナーも毎回大変参考にしています。海外生活で家族だけで日本人らしさを育てるのはとても難しいと思います。先生方が日々様々な感性を養う話をして下さっていてその影響にとても感謝しています。（中1）
- ●地頭を鍛えようという考え。英語の授業をネイティブの先生と日本人の先生の半々でやってくれるところ。変化していく入試制度の情報などを伝えてくれるところ（中1）
- ●子ども達と先生との距離が近く、スケジュールはハードですが、勉強だけではなく精神的なサポートもしてもらえる点。親としても定期的な面談で子どもの状況をフィードバックして頂き、有難いです（中1）
- ●インター校生について熟知している点。先生方の人柄が良い（中2）
- ●インターの強みを生かしながら、学習を深く進めていけることです。ユニークな先生方が多く、学びの幅が広く深いのが魅力です（中2）
- ●アカデミックな英語を勉強できるところ。ディスカッションしながら自分の考えや他者の考えを共有できるところ。インター生と同じクラスで勉強できることにより、刺激になっているところ（中2）
- ●先生方の指導力、教育に対する理念に共感し、親として学ぶことも多いため（中2）

自律と自立を育む学習塾

KOMABA Singapore

開講クラス	
オーチャード校	クレメンティ校
幼児	幼児
小学生	小学生
中学生	中学生
＊高校生は国語実践②のみ開講	高校生

2024開講説明会

開講説明会のお申し込みはこちら!
申し込み期限
1月15日(月)

KOMABAでは2024年2月から始まる新学年度授業開講に向けて、次の日程におきまして、保護者の皆様を対象としたオンライン説明会を開催いたします。説明会では、前期のカリキュラムや行事予定などをお伝えします。
お手数ですが事前のお申込みをお願いいたします。

幼児の部
1月19日(金)
10:30-12:00
＊教育講演会を含む
＊オーチャード校対象クラス
＊新年少~新年長対象
(4月からの日本の学年)

小学生〔インター•現地校の部〕
1月16日(火)10:30-11:30
＊オーチャード校対象クラス
＊新小1~新小6対象(4月からの日本の学年)

中学生の部
1月17日(水)13:00-14:00
＊オーチャード校クラス／クレメンティ校クラス
＊新中1~新中3対象(4月からの日本の学年)

小学生〔日本人小学校の部〕
1月16日(火)13:00-14:00
＊オーチャード校／クレメンティ校対象クラス
＊新小1~新小6対象(4月からの日本の学年)

高校生の部
1月18日(木)13:00-14:00
＊クレメンティ校クラス
＊早稲渋生対象

教育講演会

「考える力」を育てる幼児教育
1月19日(金)10:30-12:00
講師:こぐま会代表 久野泰可氏
※開講説明会を含む

「大切な母語の発達」
1月18日(木)11:00~11:45
講師:塾長 石川晋太郎

教育講演会のお申し込みはこちら!
申し込み期限
1月15日(月)

KOMABAの授業を取材しました!

小学生の授業の様子(国語・算数)

KOMABAでは、教室の中の授業だけではなく、生徒が街中に出て学ぶ授業もあるとのことで、この日は、国語と算数の授業を取材しました!
国語の授業では、子どもたちがウエットマーケットでフルーツ店の店員の方へ直接インタビュー取材を行い、その後スーパーマーケットのフルーツコーナーを見に行って、両者の違いや良い点や気になる点を比較していました。
算数の授業では、子どもたち自身が両替所で通貨交換の体験をしていました。算数の"割合"の勉強として、予め生徒が予想した金額になるか否か、実体験をもとに学習することが狙いだそうです。
次の授業では、体験レポートをまとめる流れということで、教室での勉強を実生活に落とし込んで、子どもたちが実践的に学んでいる様子がとても印象的でした!

ウエットマーケット訪問

スーパーマーケットの果物セクションへ移動し比較

教室内での授業風景

KOMABAの先生からのコメント

●中学準備講座の一環として実施しており、中学にあがる直前の子どもたちに、"色んな角度から勉強というものを考え直してもらいたい"という想いからこのような活動を実施しています
●現代の子どもたちは、課題を与えられることに慣れすぎているように思います。与えられた問題を解くだけではダメだと思っており、「自分から課題を見つけられるようになってもらいたい」というのがこの学習の意図になります
●"なんとなく汚い" "なんとなく不衛生だ"という潜在的な意識があるため、日常的にウエットマーケットやホーカーに行かない生徒が多いように思います。子どもが本質的に持っている感覚というより、周りの影響や日本的な生活との相対的な関係性が原因なのではないかという懸念があります

授業風景を参観したSingaLifeライターの感想

- 生徒の目がとてもキラキラして楽しそうに取り組んでいるのがとても印象的
- 教室を飛び出しての学習。ちょっとした"遠足"のようでとても楽しそう
- お店の方への挨拶や公共の場で広がって邪魔にならないようにマナーもしっかり教えている
- 取材を終えた生徒たちが、「先生、取材終わりました!」と目を輝かせながら嬉しそうに取材内容を報告しにくる(お店の方に"店頭に並んでいるフルーツは、どの頻度でいつ入荷するのか"などの内容をインタビューしていた
- 報告にきた生徒に対して石川先生は「良い取材をしたね!」と褒めつつ、その取材で得た回答に関連するさらにもう一段階深い質問を投げかけていた

KOMABAに通っている保護者様、生徒様へインタビューしました!

F君とお母様　日系幼稚園 ココロラーニングハウス 年長／6歳

KOMABA学習塾を選んだ理由は、本帰国に伴う小学校受験の可能性があったからです。楽しそうに塾に通っている我が子をみて、受験の可能性がなくなったとしても通い続けることにしました。子どもが授業後に嬉しそうに興奮している姿を見ると、新しい知識を得て脳が活性化しているのを感じます。特にこぐま会では、楽しみながら考える力を伸ばす活動に注力していて、子どもは勉強を通して得た知識を新しいオモチャやツールを手に入れたように感じているようです。入会後は、数字の本などにも興味を持ち、家でナンプレに挑戦したり、ポケモンカードで右と左を覚えるなど、興味の幅や視野が広がっています。また、幼稚園生活や他の習い事でもチームメイトにコーチの言葉を伝えられるようになったりと積極性も育まれました。先生方は親身で優しく、子どもは大好きな先生のもとで実際に物を使った体験型の学習を楽しみながら、自ら考え色々なことを吸収をしているようです。「知ることってこんなに楽しいんだ!」と思わせてくれる授業、子どもの「知る楽しみ」「好奇心」を大切にしてくださる、それがKOMABAの最大の魅力です!

Kさん　インターナショナルスクール 小学5年生

私は、インターナショナルスクールに通っていて、日本語に触れる機会が限られているため、日本語力を維持する目的でKOMABAに通っています。私のクラスには日本人学校に通っている生徒など、色々なバックグラウンドを持つクラスメイトがいて、日本語を学ぶ環境として理想的です。授業の一環として、毎週漢字のテストがあり、プリントや漢字ドリルで練習して、ウィンパスという教材で文章を読んで自分で答え合わせをします。教材は学校の教科書よりも難しいこともありますが、先生が質問に応じて丁寧にサポートしてくれます。また、先生の音読は非常に上手で、文の区切りがわかりやすいです。私のクラスは生徒数が少ない分、静かな環境で集中して学習でき、周りのクラスメイトも真剣に勉強しているため、自分も「もっと学びたい!」という気持ちになり、今では家で母親と一緒に漢字の勉強をするようになりました!

K君　シンガポール日本人学校 小学部 小学6年生

先生は具体例を交えて教えてくれるため、以前はわからなかったことも理解でき、学校の成績も向上しました。授業も学校よりも進んでいるため、学校の授業に余裕を持って取り組めます。また、現在学んでいる内容だけでなく、関連する他のトピックについても一緒に教えてくれるので、全体の関係性への理解が進みました。中学準備講座では、具体例が豊富なテキストで基本問題から応用、確認問題へと段階的に進むので自然と知識が身につきます。先生は、一人ひとりにちゃんと目を配って理解度を見ながら進めてくれ、不明点は丁寧にしっかりと教えてくれます。KOMABAの先生は海外経験が豊富で、お話を聞いていると世界観が広がりました。また、月に一度のKOMABA DAYでは、先生達も私服で参加し、授業中にお菓子を食べながら学習するなどクラスメイトとも仲良くなる機会があり、友だちも増えて通塾が楽しいです!友達にもKOMABAを勧めたいです。

Yさん　シンガポール日本人学校 中学部 中学3年生

入塾当初から受験を見据えており、その上でアットホームな雰囲気と異文化理解を深める特殊な授業に惹かれ入塾しました。受験対策の一環で非常に役立ったのは、過去問を解いてその解説を聞き、間違った問題を「直しノート」にまとめ、先生がそれをチェックしてくれるシステムです。不明な点が明確になり、学習が定着します。また、先生との距離感が近く、家族のような存在で勉強以外のことも相談でき、勉強に集中しやすい環境です。周りも本当に頑張っている子が多いので、影響や刺激を受けて自分も頑張ろうと仲間意識が芽生え、教え合い高め合っていけます!通い始めてからは、塾の多くの課題や宿題に自己管理をしながら、勉強面で積極的になる良い変化がありました!つまずけばすぐに相談でき、受験勉強で大変でも1人で抱え込まなくて良い、受験生としても最高の「自分の居場所」を見つけられました。高校生になっても通い続けたいと思います。

N君 理系(左)　早稲田大学系属早稲田渋谷シンガポール校 高校2年生

KOMABAに通っていて感じたのは、過去問が豊富に揃っていること、早稲渋入試の出題予想問題が的確だということです。KOMABA独自の出題傾向の把握の正確さは素晴らしいと思います。入塾後は、勉強を好きになりテスト前に早めに来て5時間くらい自習するなど積極的に勉強する姿勢ができました。先生方は面白く、教え方も分かりやすいので授業が楽しいです。生徒も面白い人が揃っていて、たのしくワイワイと一緒に勉強に励むことができて良い環境です。
月に一度、KOMABA DAYというのがあり、先生が私服で授業をしたり自分達でお菓子をもってきて授業中に食べていいよという日なのですが、その日を楽しみに頑張っています(笑)KOMABAの好きなところは、自分と同じ早稲渋の生徒がいるということもありコミュニケーションが取りやすく、先生方が本当に明るくて面白いところです。先生に悩み相談などをする生徒などもいて、本当に生徒と先生の仲が良いなと感じます!

F君 文系(右)　早稲田大学系属早稲田渋谷シンガポール校 高校2年生

塾の先生方は独自に出題予想問題を作成してくださっていて、その予測がしっかり当たっています。先生と生徒の連絡用のKOMABAの公式LINEもあり、過去問などの情報をそこで共有いただけたり、印刷して活用できたりするのもありがたいです。また、生徒と先生で個別にLINEでも対応いただけるため、例えば家で勉強中にもその場で直接質問できることも可能で助かります。入塾後は、成績が上がり塾の恩恵を実感しています。その時は先生も「頑張ったな」と声がけをしてくださって、時々お菓子をくださることも。先生方も明るくて、塾=暗いという雰囲気は全くなく、明るく楽しいながらも集中するところはしっかり集中して、メリハリがとてもしっかりしています。また、日常的に気をかけてくださっていて、受験当日には受験生全員に声をかけてくださり、お守りを手渡してくださったり、試験会場にも足を運んでくださったり、LINEで朝に連絡を入れてくださったりと、心身共に親身にサポートしてくださるので本当にありがたいと思います。

中学生の授業の様子(英語)

テスト終了後の答え合わせをクラスメイトと共同で行います。先生の解説前に、あえて生徒たちに自ら考えさせ、協働し意見を交換する活動を実施しています。

KOMABAの先生からのコメント

テストを解き終わったあとに、先生が一方的に解説するという授業はしていません。何点だったか、と答え合わせに必死になる中3の入試時期であっても「自分たちで考えさせる」という時間を絶対に設けています。例えば"英語"であれば、分からない単語の意味調べはもちろんのこと、クラスメイト同士でその文を訳し、「自分の答えがどうだったのか?」という解答の根拠について意見交換をさせています。

高校生の授業の様子(国語)

【早稲渋生対象の授業】
早稲田渋谷シンガポール校に通う生徒の多くが内部推薦・協定校推薦・指定校推薦で大学進学をすることを踏まえ、定期考査対策に重点を置いた指導を進めます。そして学習面だけでなく、学期ごとに必ず生徒と個別面談を実施し学校生活や進路についてもじっくりと相談を重ねます。

【インター校・現地校生対象の授業】
インターナショナルスクールや現地校の生徒たちが、将来社会に出た時に日本語で困らないよう、新聞記事を使った時事問題や小論文の書き方などの指導をします。同時に、日本の文学作品を定期的に取り上げることで、IBの日本語にも対応しています。

キッズクラス

KOMABAキッズは年少・年中・年長の幼児を対象に、それぞれの発達にふさわしい基礎教育のあり方を追求してきています。就学前の子どもたちを対象とした教育を「教科前基礎教育」という考え方で捉え、その内容と方法を独自に開発し教室で実践してきています。そうした基礎教育の実践の中で、海外の多様な幼児教育の現実的な課題に対処し、向き合っています。

教科学習前に必要な土台をつくる
6つの学習領域

国語、算数、理科、社会といった教科学習の土台となる領域を、こぐま会が提唱する「5領域」に「生活」を加えた6領域に分類。言葉だけでなく、身体や具体物を使いながら、体感的かつ論理的な学びをサポートします。

- **未測量**　長さ・多さなどの量の学習をすることで、数の大きさに対する考え方を身につけます。
- **数**　生活の中における数の変化をとらえることで、数的感覚を磨きます。
- **言語**　話を聞き・話すことで日本語の理解を深め、コミュニケーション能力を高めます。
- **位置表象**　上下・前後・左右の場所の表し方を学ぶなかで、空間認識を育てます。
- **図形**　図形の形と大きさを認識し構成・分割などを通して、図形の感覚を養います。
- **生活**　身近な生活での関わりを通して理科的・社会的常識を身につけ、物事に対する視野を広げます。

オリジナル教材と3段階学習

授業では、子どもの発達に合わせてステップアップできる独自開発の教材を使用しています。興味をもって楽しく学べるよう、身体を動かしたり、立体的な教材を用いたりしながら、右記の3段階で学習を進めます。

①身体全体でかかわる活動
②事物を使った試行錯誤
③対話・ペーパーによる理解の確認

対象学年
年少・年中・年長

指導をする上で大切にしていること

KUNOメソッドの基礎教育に加えて、海外子女だからこそ伝えたい言語や心の発達を大切に伝えています。幼児教育から小学校への教科学習につながる学びの「種」を笑顔いっぱいでまく授業です。「どうして?」「わかった!」「たのしい!」の経験を通じて、子どもたちの興味を引き出し、子どもたちが主体的に取り組みながら力をつけられるような授業を展開します。

キッズクラス体験会

実施日時
第1回：2024年1月20日（土）17：15-18：00〔オーチャード校〕
第2回：2024年1月27日（土）17：15-18：00〔オーチャード校〕

対象
お子様（年少から年長）および保護者の方
＊日本の学年

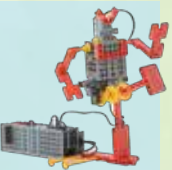
内容
25分間　体験授業（保護者の方もご参加いただけます）
15分間　保護者の方へのご説明
10分間　質疑応答

お申し込みはこちら!▼

ロボット教室

発想力や問題解決能力を引き出し育てます

カリキュラム

プレプライマリーコース、プライマリーコース、ベーシックコース、ミドルコースの4つのコースがあり、テキストを用いて学び、自分が作ったロボットが動く驚きと感動が味わえます。基本的に月2回（1回90分）の授業で1体のロボットを製作します。

対象学年
年長・小学生

指導をする上で大切にしていること

動くロボットを正確に完成させることで、集中力や観察力を養います。また、試行錯誤をくり返しオリジナルロボットに改造していく過程で、創造力や空間認識力を育みます。子どもたちが夢中になって楽しんでいる中で生まれる少しのきっかけからアイデアや挑戦心を引き出し、それをカタチにしていく楽しさを伝えていきます。

ロボット体験会

実施日時・場所
第1回
2024年1月20日（土）
16：00-16：45〔オーチャード校〕
第2回
2024年1月27日（土）
16：00-16：45〔オーチャード校〕

対象
お子様(年長・小学生)
および保護者の方
＊日本の学年

内容
体験用ロボットの制作
＊同時間帯で保護者様対象の説明会も実施いたします

お申し込みはこちら!▼

珠算道場

カリキュラム

年間4回(4月、7月、11月、1月)開催される珠算検定、暗算検定(国際珠算普及基金 開催)にむけて練習を重ねます。

対象学年
小学生

指導をする上で大切にしていること

珠算で習得するのは計算力･･･だけではありません。集中力、記憶力、判断力、忍耐力、持続力など、学びに必要な多くの力を養成することができます。算数力につながることももちろん、やがて発展させなければならない数学的思考力にもつながる力を長期的に育てていきます。

オーチャード校・クレメンティ校ともに笑顔で子どもたちが通塾中!

クレメンティ駅から小走りで30秒!

オーチャード校

Orchard Rendezvous Hotel Officeに教室があり、幼児クラス、ロボットクラス、小学生クラス、珠算教室、小中学生のインター・現地校生対象クラスを開講。
1 Tanglin Road #03-15 Orchard Rendezvous Hotel Singapore Singapore 247905

クレメンティ校

Clementi Grantral Mallに教室があり、幼児クラス、ロボットクラス、小学生クラス、中学生クラス、高校生クラスを開講。
3151 Commonwealth Ave West Grantral Mall #03-02/03 Singapore 129581

6736-0727　komaba@cradle.asia　平日13:00-22:30、土 9:30-19:00 日休

対象校：インター校生・現地校生・日本人学校生・早稲渋生　対象学年：年中～高3生

あなたの悩み、お困りごとをお聞かせください！

きめ細やかな個別指導で
柔軟にご対応いたします。

「個別指導WAOシンガポール」とは

お子様の学習で「お困りごと」はありませんか？
「○○が苦手だ」「□□を今から勉強し直したい」「△△に集中して取り組みたい」
お一人お一人の○○・□□・△△は様々だと思います。
どうぞWAOで「お困りごと」を相談してください。答えがきっと見つかるはずです。
現在、オンラインでも指導を行っています。
シンガポール以外にお住まいの方も受講が可能です。

コースラインナップ

■中学・高校・大学受験対策（全学校共通）
受験形態が多様化する現在、受験に対するニーズは様々です。
「志望校に特化した受験対策」「弱点科目の集中的な克服」「他塾の内容フォロー」など
WAOの対策は多岐に及び、ベストな授業プランで学習できます。教科については、
英語／数学／国語を基本としますが、その他の教科にも対応しています。

■日常学習・定期テスト対策（日本人学校(小・中)／早稲田渋谷シンガポール校）
「集団授業だと質問できない」「自分の分からないところから始めたい」、算数／数学のつまずきも、国語の読解の仕方、英語の基礎固めから応用まで、お子様に合った内容をお一人お一人にご提案し学習を進めます。

■日常学習（インター校・現地校）
シンガポールのインター校や現地校で学んでいるお子様が、学校で学ぶことの少ない国語（日本語）、
日本式の算数／数学。そして英語も基礎から応用までをしっかりと日本語で学ぶことができます。
また英語による指導でReading/Writing/Math/Scienceなどの指導も行っています。

■各種試験対策（英検・TOEIC・TOEFL）
WAOでは定評のある各種試験対策を実施しています。
これらの試験は、短期集中型よりも週1回で数ヵ月かけて勉強する方が、結果を出すことに繋がります。

■転編入試験・中高一貫校
私立中学や高校への転編入試験を受験する場合、対策は学校別に行わなければなりません。WAOでは、
それぞれの志望校の学習進度に合わせた対策を行います。
また、日本の中高一貫校からシンガポールに来ている方が再び元の学校に帰るためのサポートを実施しています。

受講事例

国語　インター校生G2（小2）

日本語を話すのは家族とだけというA君。色々な習い事をしているので、多忙な毎日です。WAOのプリント教材で、漢字・語句・文法・読解を学んでいます。読解問題の音読をしっかり行って、文章をすらすら読めるようになりました。

算数　日本人学校生（小4）

「算数が分からない」とお父さんとやってきたB君。計算を解いている姿を見た先生に「マス目のノートを使って計算してみよう。」と提案され、その通り実行したところ、みるみる計算ができるようになりました。「分からない」原因は「筆算が曲がって、桁がずれること」だったのです。その後諦めていた文章題も改善できました。

英語（英検対策）インター校生G8（中2）

英検がなかなか受けられない中、Dさんはシンガポールで受けられる英語試験TOEICに切り替えて勉強しました。難関校の特別な入試等で必要なハイスコアを目指すために、WAOではレベルに合わせて演習を行っています。

転編入試験対策

都内の難関私立中への編入を希望したGさん。受験校のスピードの学習をするために数学を中心に、約1年分の先取り学習を実施して、見事に合格を勝ち取りました。

中高一貫校生対策　日本人学校生（中3）／数学・古文

日本で中高一貫校に通っていたEさん。帰国後も都内の中高一貫校に通う予定にしていました。中3修了時点での帰国となるため、高校生レベルの学習も必要でしたが、日本の学校で学ぶ範囲（高2の途中まで）を全てシンガポールで学習して帰国しました。

IB対策　インター校生G12(高3)

C君はMiddle School在籍中は、日本の高校受験を目指して国語・数学を受講しました。その後シンガポール滞在が延長となり、High Schoolから英語によるEnglish,Mathの指導に切り替えました。IB対策をしっかりと行って卒業し、海外大学に進学しました。
※WAOにはシンガポール人指導者が在籍し、英語による指導を行っています。

高校受験　インター校生G10(中3)

「自分が分からないところだけを集中的に教えてほしい。」というF君。インター校生は学校の課題も多く、多忙のため効率よく時間を使いたいということからWAOにG8で入会し、国語と数学を受講しました。他の人が分からなくても自分は分かるところはスキップし、他の人は正解しやすくても自分が納得できない、理解できないところを丁寧に指導するスタイルでぐんぐん成績が伸びていきました。長い休みには授業を増やしたりして、自分のスケジュールとペースに合わせて勉強できるのがWAOの強みです。

シンガポール／世界で受講可能

オンライン 個別指導

Axis（アクシス）のオンライン家庭教師

海外と日本をつなぐ1対1個別指導 Axis（アクシス）のオンライン家庭教師
日常学習に難関校受験にと、シンガポールでも受講者が増えています。

主な実績（シンガポール）･･･金沢大・東京理科大・早稲田大・早稲田大学高等学院（高）・東邦大東邦中など

高校生の理数系に強い！
学校の考査対策・大学受験に最適！

日本に帰ってからの「学び」について

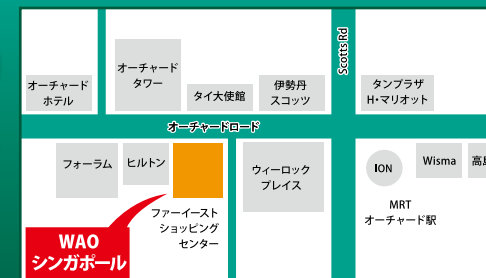
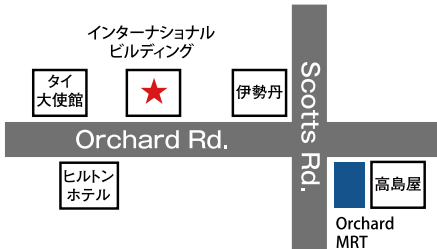
個別指導WAOシンガポールの母体であるワオ・コーポレーションは、47都道府県で「個別指導Axis」を展開しております。首都圏・関西・中京圏を始め全てのエリアの情報を網羅し、国内にお帰りになってからも継続的な学習が可能な体制を敷いています。また、集団部門「能開センター」とも連携しております。中学・高校・大学受験についてもお気軽にご相談ください。

個別相談会実施中！【平日】13:30～15:30【土日】お問い合わせください。

WAOシンガポール

9057-0433（SMS専用）
☎6733-5144
https://sg.wao-corp.com/　WAOシンガポール　検索
受付時間 月～金 13:30-20:00 / 土 10:30-18:00
545 Orchard Road #16-06 Far East Shopping Centre Singapore 238882

早稲田アカデミー

＜シンガポール校＞
360 Orchard Road #04-03/#04-09 International Building
Singapore 238869
Tel: 6734-1969
Email: singapore@waseaca.com.sg

2024年度入試 合格速報

早稲田渋谷シンガポール校

33名（大阪2名含む）

13年連続早稲田渋谷20名以上合格

合格実績最新情報は下記URLへ!
https://waseaca-singapore.com/result/index.html

充実した教育環境を

記事をご覧の皆様、明けましておめでとうございます。早稲田アカデミーシンガポール校で生徒の皆さんと学び、気がつけば10年以上。毎年さまざまなバックグラウンドを持つ生徒がこの校舎に集い、共通の目的を持った仲間と成長し、新たな目的地へと向かって旅立っていきます。海外でのお子様の教育や進路選択では不安な点も多いかと思いますが、受験において重要なのは、「時間との勝負なので早めに準備を心がける」こと、「自分に近い進路を選んだ先輩の情報を多く集める」ことです。これまでの、そしてこれからの情報が集まる当塾をぜひお訪ねください。また「今の自分を変えたい」、「友達にテストの点数で勝ってみたい」など、何かしら目標がある生徒さんはぜひ、シンガポール校の授業を体験しに来てください。目標に向かって頑張る生徒さんは必ず伸びます。そして、「夢や目標に向けて頑張った」経験は、大人になってもかけがえのない財産となるでしょう。学力だけでなく、人間的にも成長できるよう、手助けできたらと思っています。2月より開始の2024年度コースにて、皆さんをお待ちしております。

シンガポール校 新規開講説明会日程

1/10（水）11:00-12:00　新小4、新高2
1/10（水）13:00-14:00　新小3、新高1
1/11（木）11:00-12:00　新小5･6、新中2
1/11（木）13:00-14:00　新小2、新中1･3、英検/小学生
1/14（日）10:00、14:00　新小1モデルレッスン
説明会のお申し込みは右のQRコードから是非アクセスを！▶▶▶

＼ここに注目／

完全習熟度別クラスによる一人ひとりの適性にあった授業
小学生から高校生まで通える一貫した教育環境
豊富な受験データの蓄積に基づいた的確な進路指導

イチ押しポイント　様々なニーズに対応可能な、きめ細やかなフォロー体制!

対面とオンライン受講をその都度選択できる『早稲アカDUAL』を通年で実施、ご予定や体調に合わせつつ、継続的な学習が可能です。
経験豊富な講師陣と膨大な受験データを基に、中学受験や高校受験だけでなく、その後の学校生活や次のステップに向けた学習を継続できます。
国内や海外他地域の早稲アカとも連携し、他国転勤や本帰国後も安心して勉強に取り組める、そんな環境が早稲田アカデミーシンガポール校の大きな魅力だと考えています。

ご入塾に関するQ&A

Q「対面授業」と「双方向Web授業」、それぞれのメリットを教えてください。
A「対面授業」のメリットは、講師や切磋琢磨できる仲間と細やかなコミュニケーションを取ることのできる点です。勉強にはモチベーション維持が必須なため、周りに流されてしまいがちな生徒さんにお勧めです。「双方向Web授業」は、通学時間の短縮を活用した授業前「質問教室」や、たとえ一時帰国中でも、インターネットがつながれば何処からでも参加できることです。また、恥ずかしがり屋の生徒さんも気軽に発言できるチャット機能も魅力です。

Q 本帰国や、他国への転勤などへの対応状況は?
A 本帰国の際は、お近くの早稲田アカデミーへ転校が可能です。また、他国への転勤に関しても海外校舎への転校が可能です。特に小学生の受験科は週単位で国内外問わず同じカリキュラムを実施しているため、転校の際も学習漏れがなく安心です。早稲田アカデミーがない国の場合、クアラルンプール校にてオンライン授業をご受講いただくことも可能になりました。

Q 中学受験について詳しくないのですが、入塾前に準備など必要でしょうか?
A 入塾前の事前準備は一切不要です。まずは1月新規開講説明会にてご相談ください。入塾後も年5回の保護者会、年2回の個別相談を実施してサポートしておりますので、受験に関して保護者の皆様も一緒に学んでいく気持ちでいらしてください。

Q もともと勉強のできる子が通う塾というイメージですが…。
A すべての生徒さんが最初から勉強が得意であったり、最難関校を目指しているわけではありません。塾に通ううちに勉強が楽しくなり、学力が伸びて、当初の志望校よりも上位校を目指すようになった、という生徒さんも多いです。

新年度（2024年度）シンガポール校 時間割

小学部時間割

	月	火	水	木	金	土	日
低学年		小1 SuperKids 17:00-18:40		小2 SuperKids 17:00-18:40			チャレンジテスト 14:00-14:55
公立科	小3公立科 算数/国語 17:00-18:40	小4 公立科 算数 17:00-18:40			小4 公立科 国語 17:00-18:40		小学 スタンダードテスト 13:30-15:30
			小5 公立科 算数 17:00-18:40		小5 公立科 国語 17:00-18:40		
	小6公立科 理科/社会 17:00-18:40		小6 公立科 国語 17:00-18:40		小6 公立科 算数 17:00-18:40		
受験科	小3受験科 理科/社会（4月開講）	小3 受験科 算数① 17:00-18:40	小3受験科 国語① 17:00-18:40	小3受験科 算数② 17:00-18:40	小3受験科 国語② 17:00-18:40	マンスリーテスト 9:30-10:35	
		小4 受験科 国語 17:00-18:40		小4受験科 理科/社会 17:00-20:40	小4受験科 算数 17:00-18:40	YT週テスト 9:30-12:30	
	小5受験科 算数/国語 17:00-20:40	小5 受験科 社会 17:00-18:40	小5受験科 理科 17:00-18:40	小5受験科 国語/算数 17:00-20:40			
	小6受験科 国語/算数 17:00-20:40	小6 受験科 理科 17:00-18:40	小6受験科 社会 17:00-18:40	小6受験科 算数/国語 17:00-20:40			
オプション			作文講座（9月開講）				
		小学生英語 中級 17:00-18:40	小学生英語 入門 17:00-18:40	小学生英語 初級 17:00-18:40	小学生英語 上級 17:00-18:40		
	Primary English Intermediate 17:00-18:40	Primary English Advanced 17:00-18:40	Primary English ESL① 17:00-18:40	Primary English Standard 17:00-18:40	Primary English ESL② 17:00-18:40		

中学部時間割

	月	火	水	木	金	土	日
中1		中1　数学 19:10-21:10	中1　国語 19:10-21:10		中1　英語 19:10-21:10	中1　理科/社会 9:30-12:20	
中2		中2　英語 19:10-21:10	中2　数学 19:10-21:10		中2　国語 19:10-21:10	中2　社会/理科 9:30-12:20	
中3	中3　理科/社会 18:00-21:00	中3　国語 19:10-21:10	中3　英語 19:10-21:10		中3　数学 19:10-21:10	中3　土曜特訓 13:30-16:00	
全学年	Secondary English Intermediate 19:10-21:10			Secondary English Advanced 19:10-21:10		STD/HLテスト 13:30-17:30	

高等部時間割（2-3月）

	月	火	水	木	金	土	日
現中3		高1　数学 19:40-21:40	高1　国語 19:40-21:40	高1　英語 19:40-21:40			
現高1	高2　英語 19:40-21:40		高2　数学 19:40-21:40		高2　国語 19:40-21:40		
現高2	高3　数学Ⅱ（文系） 19:40-21:40	高3　文系国語 19:40-21:40			高3　英語 19:40-21:40		高3　数学Ⅱ（理系） 9:30-11:30
							高3　数学B 13:30-15:30
					TOEFL iBT 19:40-21:40		

高等部時間割（4月以降）

	月	火	水	木	金	土	日
高1		高1　数学 19:40-21:40	高1　国語 19:40-21:40	高1　英語 19:40-21:40			
高2	高2　英語 19:40-21:40		高2　文系数学Ⅱ 19:40-21:40		高2　国語 19:40-21:40		高2　数学Ⅱ（理系） 9:30-11:30
							高2　数学B 13:30-15:30
高3	高3　文系数学 19:40-21:40	高3　文系国語 19:40-21:40		高3　理系数学 19:40-21:40	高3　英語 19:40-21:40		
					TOEFL iBT 19:40-21:40		

早稲田アカデミー

＜インター校＞
35 Rochester Drive #02-17 ROCHESTER MALL
Singapore 138639
MRTブオナ・ヴィスタ駅から徒歩3分「ロチェスターモール」2階
Tel:6659-0787
E-mail:inter@waseaca.com.sg

対象学年:インター校・現地校に通学する生徒
小1-高3コース　小学生受験科/ライト　IB日本語/数学

つまみぐいから、はじまったって、いい。

当校はインター生・現地校生のための校舎として開校し、2024年は初めて日本の大学にIB生が進学します。早稲田アカデミーの実績あるノウハウを生かしながら、帰国枠の中学・高校入試とIB日本語/数学に対応したカリキュラムを提供しています。また、IBで海外大学に進学する校舎は、早稲田アカデミーとしてはこちらだけです。
通常クラスを基本対面型の定員制としており、初めての塾通いでも丁寧にサポートできることや、学校の予定に合わせた季節講習会が、インター生・現地校生の学びを支えます。また、さまざまなバックグラウンドを持つ塾生を個人として大切にしつつ、日本語で将来を考えられる知性を育てることを、校舎独自の目標としています。
これまでの経験から、小学生は低学年から「母語での学び」を大切にされると、小4以上で論理性を育みやすいと感じています。中学生からは、将来なりたいロールモデルを見つける意識を持つと進路が決まりやすいようです。
校舎は8年目になりますが、初心を忘れず、塾生のためにより良い環境づくりを進めたいと考えています。

体験授業などの日程

体験授業:1月8日（月）～
2024年度開講日:1月29日（月）～
入塾テスト/親子面談:毎週土曜日13:30～
体験授業などのお申込みはウェブサイトからどうぞ!

インター校 新入生説明会日程

2024年1月9日（火）13:00~14:30　新小1-新中3対象
2024年1月12日（金）13:00~14:30　新小1-新中3対象
2024年1月13日（土）9:30~13:00　新小学1年生モデルレッスン
2024年1月16日（火）13:00~14:30　高校生対象
*新入生説明会は、完全予約制で教室にて対面型で行います。

＼ここに注目／

もてる全てを、インター生と現地校生のために
UWC、Tanglin、Dover Court、ACSから近い校舎
授業料がおトクになる、兄弟割引制度完備

新年度（2024年度）通常授業 時間割

※1/27(土)までの授業は、現学年の授業をお選びください

	月	火	水	木	金	土	日
17:00-18:50	新小3ジュニア 国語	新小5受験科 算数	新小5受験科 国語	新小3ジュニア 算数	新小1スーパーキッズ 国算	小学生テスト（9:30から）	小5・小6 組分け/月例テスト（9:30から）
	新小4受験科 算数	新小5ライト 算数	新小5ライト 国語	新小4受験科 国語	新小2スーパーキッズ 国算		
	新小4ライト 算数	新小6受験科 国語	新小6受験科 算数	新小4ライト 国語	IB日本語 UWC DOVER G12/G10		
		新小6ライト 国語	新小6ライト 算数		G9数学		
19:10-21:00	新中2 国語	新小5受験科 算数	新小5受験科 国語	新中3 国語T	G10数学	中3土曜特訓 13:30-16:00	テストのない日曜日は休校日です。
	新中3 数学T	新小6受験科 国語	新小6受験科 算数	新中3 国語R	IB日本語 ACS	中学生テスト（13:30から）	
	新中3 数学R	IB日本語 UWC EAST	新中1 国語	新中1 数学			
	IB日本語 UWC DOVER G11/G9	G11-IB数学 (Analysis & Approaches)	新中2 数学	G12-IB数学 (Analysis & Approaches)			

2024年度設置コース

小1～小2	スーパーキッズ（国･算）
小3	ジュニア（国･算）
小4～小6	受験科（国･算）
小4～小6	ライト（国･算）
中1～中3	国･数
高校生数学コース	
高校生	IB日本語/数学

*対象となる学校が多いため、塾バスは帰宅用のみ用意しています。

ご入塾に関するQ&A

Q　どんなご家庭が早稲アカ･インター校に向いていますか?
A　目前で上下する成績よりも、勉強への姿勢や将来への準備が大切だという考えに共感して頂けるご家庭です。もちろん、四谷大塚や早稲アカ･オリジナルテキストなど、レベルの高い教材やテストにチャレンジしたい生徒も向いています。

Q　入塾テストはありますか?
A　早稲アカ･インター校では、入塾テストと親子面談(お子さまと保護者)があります。点数よりも、これまでの学習状況を確認させていただくのが目的です。ここでの親子面談がご家庭と講師をつなぎます。

Q　シンガポールに来たばかりなのですが、まず英語を強化すべきでしょうか?
A　英語と並行して、国語では論理と漢字、算数では計算力を育てる環境を継続した方が有利です。英語は学校の学びや友人関係によっても育てられますが、日本語力と計算力が下がるとキャッチアップに長い時間が必要です。

さつき学園
シンガポール

日本語・国語・算数
しっかり、そして楽しく勉強

お子様への願い

本校での学習を通して生徒たちには「世界に羽ばたく力」を身につけてほしいと思っております。本校の特色として、在校生の最終目的である大学受験は「日本を含む世界各国の大学」を視野に入れている生徒が多数です。生活言語の英語・中国語・フランス語などの他、さつき学園シンガポールの補習校の学習を通して養う「国語力」の強化により「考える力」「感じる力」「想像する力」「表す力」「国語の知識」「教養・価値観・感性等」など総合的な力をつけることで、世界に通用できる力を身につけてほしいと願っております。さぁ、お友達と一緒に楽しく日本語・国語・算数の教科書を使った学習をしてみませんか。

楽しく学習することについて

本校は年少から高校生を対象にした日本語・国語・算数の補習校です。お友達と楽しく日本語を使って週1回・3時間の学習を行います。ご通学中のお子様は、シンガポールローカル校やインターナショナルスクールに在籍をしている関係で、生活言語は英語・中国語・フランス語などです。他言語として日本語で国語・算数の学習を行う為、子どもたちへは宿題として「教科書の音読」と「作文」を必ず行うよう指導をしております。「音読」として、毎日声に出して教科書を読むこと、そして「作文」として文章を書くことで「日本語の読み・書き」を強化しております。日々の積み重ねにより、ますます日本語力にブラッシュアップが掛かります!

シンガポールに住んでいる生徒へのメッセージ

シンガポールのローカル校幼稚園・ローカル校
小学校・インターナショナルスクールにご通学をさ
れているみなさん、普段、日本語をどれぐらい使用
していますか?英語や中国語を主に勉強されてい
ると思いますが、是非、日本語力をブラッシュアッ
プしませんか?アットホームな学校で、楽しいお友
達たちと無理なく国語・算数を勉強しましょう。こ
こだけの話、勉強を頑張った分だけ、ご褒美が貰
えます。是非お気軽にお問い合わせください。

週末の 補習校プログラム

日本に住んでいる小学生と同じように、日本の教科書を使用し学習指導要領に沿った国語・算数の学習を行う民間の補習校となります。年44回の指導計画書に基づき、国語は1回3時間・算数は1回90分の学習を行います。

帰国生への指導体制

本帰国が決まっている生徒には、日本語学力維持と日本の小学校・中学校へのスムーズな転校を見据え、入学時から該当学年に入学し、学習指導要領に沿った教科書学習を行います。そのため、日本の学校に転入する際、非常にスムーズに日本の学校生活に馴染めるという点は、補習校ならではの強みとなっております。

1年生の補習校入学を目指した 未就学児向けのプログラム

●日本語での指示が分かるお子様向けの、1年生補習校進級を目指した、ひらがな・カタカナの読み書きの習得を目標にした3時間のプログラム

●全く日本語に触れたことがない、または日本語の読み書きができない年少さん向けの少人数制の1時間のプログラム

お子様のレベルによって、プログラムの選択も可能です。

補習校が運営する平日限定の
少人数制の手厚いサービス

さつき プレスクール

午前の部、午後の部、または両方の部を継続してご受講頂くことが可能な少人数制の手厚いサービスを2023年9月に開校いたしました。

運筆、ひらがな・カタカナ学習・物や動物の名前学習・数字・アルファベット・体育・音楽・歌・絵本の読み聞かせ等のアクティビティを行い、語学の学習を含めた総合的な学習を行います。少人数の為、お席に限りがございます。

学習教室ガウディア

小学生以上「学習教室ガウディア」
年少から年長向け、少人数グループ
「学習教室プレガウディア」

子ども達が社会に出てたときに必要となる「使える力」の習得を目指した学習教室です。これからの社会で生活していく子ども達は、できない問題やさまざまな困難にぶつかったとき、条件を読み解き(読解力)、自ら考え(思考力)、知識や経験を活用して(活用力)、他の人に分かりやすく伝える(表現力)ことが求められます。そこで、"考える力の土台を作る大切な幼児～小学生の時期に、適切な学習を"と作られたのが学習教室ガウディアです。

この「読解力・思考力・活用力・表現力」の4つ『使える力』を総合的に養います。この『使える力』は指示されたことをこなす学習では身に付きません。ガウディアでは、なぜそうなるのか、物事の仕組みを根本から理解していく姿勢や、わからないことにぶつかったとき、まずは自分で考え、解決していく学習を大切にしています。教えてもらった知識を獲得していくことが子ども達の本当の力になるという信念を持っているからです。是非、自学学習教室ガウディアを通して、学ぶ楽しさを身に付けましょう!

カリキュラム(学年ごと)

学年	プログラム
年少	補習校プログラム「幼児日本語クラス①」(日本語初級)
年中	補習校プログラム「幼児日本語クラス②」(日本語中級)
年長	補習校プログラム「小学準備クラス」
年少から年長まで	グループ学習「プレガウディア」・一時保育サービス「わくわくランド」

学年	プログラム
1年生 2年生 3年生 4年生	国語・算数補習校 学習教室ガウディア
5年生 6年生	国語補習校・学習教室ガウディア

学年	プログラム
中学1年生	中学1年生・日本語インタークラス
中学2年生	中学2年生・日本語インタークラス
中学3年生	中学3年生・日本語インタークラス
高校生1年～3年生	高校・日本語インタークラス

当校は、英検・漢検の海外準会場です

さつき学園シンガポールは、シンガポールのローカル校幼稚園・ローカル校小学校・インターナショナルスクールにご通学をされている方向けの日本語補習校です。

●日本からシンガポールに赴任されて間もない方で、お子様の日本語力をキープしたい方
●普段は日本語以外を使って生活している為、なかなか日本語に触れる機会がないお子様
●家庭の中ではなかなか日本語に触れる機会がないが、日本にルーツを持っているご家族
●シンガポールの赴任期間が決まっている駐在員のご家族で、日本に帰国後、スムーズに小学校や中学校に転入予定がある方
●日本にルーツを持っていないが、日本赴任で実際にお子様が日本の小学校に通学されていたので、日本語力の維持が目的の方

本学園は特に入試などを設けず、基本的には全てのお子様が楽しく学習できるよう、学年を落として入学が可能で、無理なく学習できる学年でご通学頂けます。

さつき学園
シンガポール

「国語・算数の補習校」・「学習教室ガウディア・プレガウディア」・「少人数制の手厚いサービス・さつき プレスクール」以外に、多彩なプログラムを開講いたします。

英検 実用英語技能検定
漢検 日本漢字能力検定

491B River Valley Rd, #20-01, Singapore 248373
Great World 駅 (TE15)、Havelock 駅 (TE16)
9833-3240 www.kokugo.sg

創業28年、日本で350教室以上展開中!

東大生講師陣が指導する WAM 個別進学塾 開校!

バーン!

ACCEL JAPAN
アンバサダー ヒロミ

教室長メッセージ 下剋上成功への道! 偏差値の壁を乗り越える独自メソッド!!

教育業界に20年以上関わってきました。難関校合格できる優秀な生徒を集めることに必死になる進学塾ではなく、逆転合格を勝ち取る指導に長く従事し実績を上げてきました。**中学受験には、偏差値60の壁があります。どれだけ勉強しても越えられない生徒が7割以上です。**それは進学塾の宿題を目一杯やるだけでは解決できません。しかし、WAMメソッドなら解決できます。**私はこれまで、偏差値50台からの御三家への合格(偏差値10以上の差を逆転)、小5の5月から受験を志しての難関中(偏差値63)合格など、数多くの『下剋上』を実現させてきました。**日本の大学への進学は年々、制度が複雑化していき入試傾向も少しずつ変化しています。だからこそ、大手予備校などが太刀打ちできず毎年合格実績を下げていると言えるでしょう。**大学受験こそ、偏差値に関係なく「行きたい大学に合格する」方法があります。1年半なら早慶上理、2年なら東大・京大も十分合格できるレベルまで持っていけると自負しています。**まず一度ご相談ください。無料の体験授業を受けていただくこともできます。大切なお子様の将来に向けて、正しい第一歩を踏み出すことができると思います。

南方 健一 教室長
(東京大学 卒)

成績が上がる勉強法教えます!

進学塾の宿題を目一杯やるだけでは成績は上がりません

成績を上げることで一番大切なのはお子さんの学習状況を理解して、何の教科のどの単元をどれくらい上げるかを把握し、何をやらないといけないかを明確にすることです。WAMでは生徒さん一人ひとりに合わせたてオーダーメイドカリキュラムを組みます。予定通りに勉強できているか、勉強法は間違ってないか、など「このままで大丈夫なのかな」という不安を一切与えることなく成績を上げることができます。

自宅でマンツーマン指導!

コース紹介

帰国子女枠の受験対策、一般入試対策、現地校の学習フォローや英語学習など目的に合わせたコースで成績を上げます!

四谷大塚テキスト準拠の中学受験対策

偏差値50台からでも難関中学校が突破できるコースです。**四谷大塚のテキスト「予習シリーズ」をベースにお子さまの学力状況・志望校に合わせて個別カリキュラムで進めます。**高速基礎マスターでさらに理解度を高め、週テストで理解度をチェック。理解が浅い単元については、厳選された東大生講師が個別指導で補習して、確実に力が付くシステムとなっております。東大出身の教室長が日々の学習もサポートしています。

日本人学校小学部・中学部の授業サポート

お通いの学校の授業・試験に合わせて指導を行います。一人ひとりに合わせてカリキュラムを作成・学習管理をし、差が付きやすい算数・数学も日本との進捗の差を考慮しながら、帰国後もスムーズに授業へ入れるようにサポート。**国語力が不安な小学部の生徒には、基礎的な国語の指導もお任せください。**受験生には志望校を決める進路相談から志望校別の受験対策で合格させます。

早稲田渋谷シンガポール校授業サポート

早稲渋には豊富な指定校推薦枠があります。推薦を決めるのは1～3年の定期テスト、1年生2学期からの実力テスト、およびTOEIC/TOEFLの得点です。**難関大学進学の夢をかなえるべく、早稲渋に合わせた指導を行っています。**外部受験をする際には、別途受験用のカリキュラムを作成。毎年偏差値40台からの難関大合格を実現しているWAMのメソッドで志望校に合格させます。

国際バカロレア対策

国際バカロレアの評価基準を熟知しているIBコーディネーター講師が多数在籍しています。生徒さんに合わせて最適なカリキュラムをご提案。**essayやmathなど科目ごとの評価基準を掴んでいるからできる要点を捉えた指導で成績を上げます。**解答するための型と抑えるポイントさえ掴めれば、難しいと思っていた内容も思考プロセスがすっきりして急激にスコアアップにつながります。

WAM 個別進学塾

TEL +65-8371-6090
HP https://wam-e.sg

お問い合わせ・お申し込み
開校情報や教室情報、
オンライン指導の詳細はこちら ▶

SingaLife
特別企画

シンガポールの各塾へ聞いてみました!!

学力だけでなく、学生の多面的な能力や人間性を評価される多様な入試形態について

従来のペーパー試験だけの入試形態に変わる新しい受験システム。受験生の幅広い能力や個性を総合的に評価し、単なる学力のみでなく、知識や技能、思考力、判断力、表現力、さらには人間性や学びへの意欲など、多面的な側面を考慮して選抜する入試形態が広がっています。

実際に、これまでの試験では、単に学力や記憶力を問うテストが主流でしたが、新タイプ入試ではそれだけではなく、面接や作文、ポートフォリオ提出、実技試験など、多岐にわたる評価方法が導入されています。

このような多面的な視点から受験生を評価することで、将来的にはより多様な人材が社会に貢献できる環境を作り出すことを目指しています。

特に帰国生が持つ幅広い視点や異文化への理解、他の受験生との多様な違いが、評価の際にポジティブに評価される可能性があり、帰国生にとって主流の試験となるとも言われています。

そんな中、新タイプ入試の導入に対する見解、導入により変わること、変わらず大切なこと、また対策のためにできることなどシンガポールの各塾に聞いてみました!

1 学力オンリーではない入試の導入により、学校が求める学生の能力が変わると思われますが、それが社会や進学にどのような影響をもたらすのでしょうか

2 ペーパーテストの点数だけでなく、知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びへの意欲や人間性を養っていくためにシンガポールでどのようなことをしていくべきでしょうか

オービットアカデミックセンター　満仲 孝則先生

ORBIT

❶学力だけでない入試の導入による社会や進学への影響

そもそも旧来型の筆記試験を中心とした画一的な教育とその評価方法は、均質な労働力の生産とその選抜振るい落としが目的でした。しかしながら、グローバル社会の進展による多様な人材の必要性に加え、急速な少子化により、その機能の必要がなくなったわけです。このような背景を踏まえると、近年の入試の多様化や総合型選抜の拡大は必然です。評価軸の多様化により、進路進学の選択肢が大きく広がったといえるでしょう。

今後の影響としては「学校が求める学生の能力が変わる」という入試の一面にとどまらず、社会全体において「優秀という言葉の定義とその認識が変わる」と思われます。今までは「どの科目も万遍なくできる子」や「オール5」が高く評価されていましたが、評価軸が増えた世界ではとりあえず何でもできる子は逆にどの評価軸にも引っかからず埋もれてしまいます。つまり「とにかく何でも高い成績を狙う生徒」よりも、「自分の強みを認識した上でそれを伸ばそうとする生徒」の方が相対的に優秀だと評価される社会になるでしょう。

また、多くの学校が時代に合わせた教育改革を急速に進めており、従来の偏差値を基準とした学校の序列・評価も大きく変わるでしょう。今の親世代が経験した受験の成功体験をそのまま子どもに当てはめることはできず、今まで以上に学校選択が重要になります。子どもの教育や進学についての価値転換は必須です。

このように、多様な観点で評価されることで自己肯定感や目的意識を高く持てる生徒たちは、それを継続して実現できる学校を選んで進学し、社会でも活躍できる可能性が高くなる一方、旧来型の画一的な受験準備にとどまってしまうとどうなるか…。推して知るべし、です。

❷シンガポールでどのようなことをしていくべきか

「シンガポールで」何をすべきかという観点であれば、当然、日本ではできないことに挑戦したいところです。ただ、短絡的に「これをすべき」という何か決まった理想の正解のようなものを求め始めると、結局はテスト対策のように、これだけすればよいという発想に陥りやすく、「思考力・判断力・表現力」の土台となる「学びへの意欲＝主体性」を育む芽を摘み取ることになり本末転倒です。前提として大切なのは、いろいろな体験を通して子ども自身が「好きなこと・得意なことを見つけること＝自分自身を知ること」です。実際に体験してみないと、得意不得意、向き不向きの判断ができません。

そのためにも、間違いや失敗を恐れずに何事もポジティブに捉えるマインドを育める環境が必要です。一つの正解を求めがちな同質性の高い環境ではなく、多様な価値観をもった人たちの中で、正解のないさまざまな考えに触れながら自分の考えを表現できる環境であれば、「思考力・判断力・表現力」も育まれます。親は子どもに「これをすべき」と与えるのではなく、多様性のある学習環境を用意してあげてください。

その上で、国際的にはどんな体験が求められているのでしょうか。それにはインター校で採用されているIB Diplomaプログラムの「CAS」がヒントになります。CASは、Diploma取得のために必要な「Creativity(創造的活動)、Action(体験やスキルを身に付けるための継続的活動)、Service(奉仕活動)」の3つの課外活動です。何から手をつけてよいかわからない場合は、これらの視点に当てはまるような活動を選んでみるとよいでしょう。

シンガポールであれば、これらを国際的な視点でできる・伸ばせる恵まれた環境であるという認識をもつことが重要です。

学習塾 KOMABA オーチャード校・クレメンティ校　石川 晋太郎先生

KOMABA

❶学力だけでない入試の導入による社会や進学への影響

小・中・高・大、全ての入試が形態の多様化により、進路選択の幅が広がっていることは確かです。一方で、教科型が苦手だから・・・や、作文や小論文でなんとか・・・、といった考えで入試を考えてしまう場合があるかもしれません。しかし、進学するための手段として入試の多様化を都合よく利用しようとしてしまうと、仮にうまく進学できたとしてもその後の学習についていくことができず、学校生活そのものが苦しくなってしまうかもしれません。そうした入試を利用することは、ある意味で筆記による教科型入試よりもやらなければならないことが多く、長期目線で取り組んでいく必要があるかもしれないことを覚悟しなければなならいと思います。

例えば、弊塾の生徒の過去の例では、数年にわたってボランティア活動に取り組み、その蓄積から得た知識や経験を伝えられるような生徒がいました。また、長期休暇の度に社会課題を抱えた他国へ行き、その国の様子をスライドでまとめてプレゼンテーションをしてくれるような生徒もいました。繰り返しになりますが、消極的な姿勢によって進学の手段として多様化する入試を利用するのではなく、普段からどんな取り組みをし、感性をどう豊かにしていくか、その先にこういった入試の利用と、進学後の更なる成長があるのだと感じています。

❷シンガポールでどのようなことをしていくべきか

先述の生徒の例は、そうはいってもなかなかできることはないと思います。ただ、そういった特別な経験を積まなくてもシンガポールで生活しているというだけで多くの学びの場があるはずです。

例えば、KOMABAでは次のような学習を通常授業に組み込んでいます。　例：市場とスーパーの果物売り場の違いを取材してくる・シンガポールで異なる宗教が調和していると感じる街角の風景を撮影してくる・どこかで大きな災害が起きた時にチャリティー授業を実施し子どもたちの関心を高める　そういったことの積み重ねで子どもたちは自然と自分の視野を広げ、自分自身で学ぶ動機づけを見つけるきっかけとなるのではないかと信じて続けています。学校や塾やご家庭、それぞれのちょっとしたきっかけ作りが子どもたちの未来の財産へとつながり、結果的にその過程で入試にも活用できるようになっていくと思います。

早稲田アカデミー・シンガポール校　塩澤 善秀先生

早稲田アカデミー

❶学力だけでない入試の導入による社会や進学への影響

社会が求めているグローバル人材育成に今後も拍車がかかっていきます。グローバル人材には語学力のみならず、相互理解や価値創造力、社会貢献など、さまざまな意識などを持つ必要があります。帰国入試ではいち早く学力以外の入試を取り入れている学校があり、面接や作文、体育に音楽や動画作成など多岐にわたるテストを実施していますね。

入試問題というのは「どんな子に来てほしいか」「我が校ではこういう学びを提供します」という学校からのメッセージですので、まさに帰国入試をしている学校が求めているものこそ、グローバル人材育成に欠かせない要素です。海城中学校の2分間スピーチや自分なりの発想や考え方を書かせる算数記述問題、学習院中等科の理科実験や体育による考察させる面接がある入試などで、どういう考え方をしてどこまで理解を深めているのか「解にたどり着くまでのプロセス」や.ペーパーテストでは計れない「洞察力や協調性」を学校は見ていますね。

中学/高校の一般入試ではまだまだ学力重視の入試が主流ですが、入試問題の記述量が増えるなど学校ごとの傾向がより色濃く出てきていると感じます。記述重視の学校では長文の問題文を読み込み、しっかり分析した上でその場で考えて解く力が必要とされていることの表れです。

社会が求めているものに合わせて入試も変化しているので、それにともない、保護者の意識が偏差値ベースの志望校選択から「各学校の特徴」で学校選びをする傾向がより一層強くなっていき、学校も多様化していくと思います。

❷シンガポールでどのようなことをしていくべきか

日本でもシンガポールにいても、中学受験や高校受験など大きな壁にぶつけてあげることです。学びへの意欲はもちろん、壁を越えるためのトライ&エラーが人間性などの総合力を養ってくれます。受験は1回のペーパーテストにて決まってしまうことは多々ありますが、受験は人生のゴールではなく、あくまで通過点。ただ、その通過点にきっちりと目標を定めて、努力をすることで「今の自分」を越えて成長ができます。

勉強は仕事と似ていて、努力してもすぐに結果が出ずに諦めそうになることが多々ありますが、数多くの失敗を繰り返しながら、成功を勝ち取るために努力し続けることが重要。壁にぶつかってはプルス・ウルトラ(Plus Ultra)と叫びながら是非成長していきましょう。その過程で「一つのことに取り組む忍耐と集中力」「未知の世界との出会」「興味の持てる分野の発見」など色々なものを得られますよ。

また、周りの大人はペーパーテストの得点だけで一喜一憂せずに正しく情報を把握することが一番大切です。テストの結果はあくまで今回の出題問題の中で競った時の順位であり、その子のすべてを表している数値ではないです。テストが終わったあとによく保護者から「成績が〜、志望校が〜、算数が〜」と悲鳴に似た相談を受けることがあります。一人ひとり学習スピードや習得率は異なるのでエラー&トライの繰り返しをしながら能力値を上げていきましょう。

受験の壁を超える前後で大きく成長しています。本気で何かと向き合って、成功/失敗することが人間を成長させてくれると毎年感じています。

早稲田アカデミー・インター校　阿部 素子先生

早稲田アカデミー

❶学力だけでない入試の導入による社会や進学への影響

インターナショナルスクールや現地校に通う生徒にとっては、本人の普段の活動やこれまでに手掛けてきたことが評価されるため、この変化の流れは好意的に受け止める方が多いのではないでしょうか。社会や進学に今後どう影響をもたらすかというよりも、むしろ人材の多様性を求める日本社会のあり方が、入試スタイルにも影響を与えたという判断をしています。

具体的には、学力以外の入試として中学・高校では面接や小論文、大学でも同様に小論文や口頭試問、プレゼンテーションなどの方法が採用されています。これは、学校が「批判的・論理的思考力」や「協働性」といった、数値化できない能力を重視するようになったことを意味しています。これによって、学力試験だけでは測れない個人の資質やスキルが認められ、進路の選択肢が増えると思います。

海外校舎としては、このような選考方法の多様化に対して、帰国生のバックグラウンドを見てくれるという意味で歓迎しています。なぜなら、英語力の他にもスポーツや課外活動などの成果を評価してもらえるチャンスになるからです。そして、この変化には、生徒たちの将来像を見たいという学校側の考えが反映されているのではないでしょうか。つまり、入学時の実力だけでなく、入学後の成長や海外生の学校での貢献を期待しているということです。

一方で、これらの入試は学力選抜とは異なり、客観的な判断基準がありません。そのため、志望校をよく調べて教育理念や求められている人物像を理解すること、その上で自己分析が今まで以上に大切になると考えています。ですから、より学校に合った生徒が志願するという流れになっていくのではないでしょうか。

❷シンガポールでどのようなことをしていくべきか

シンガポールで暮らしていること自体が生徒たちにとって「生きた教科書」の中にいることだと捉えるのはいかがでしょうか。日々の生活のすべてが学びにつながりますから、ここで「自然」だと思ったことを日本や渡航先と比べてみると、新たな問いや気づきが得られるのではないかと思います。また、自分が恵まれている環境にいることを知り、将来どのように社会に貢献できるのかを考えるきっかけになると講師としては嬉しいです。

おそらく、この問を作られた方は「非認知能力」をどう育てるかという点で、意見を求めているのではないかとも考えました。率直に言うのであれば、学んでいく段階はさまざまなフレームの中で効率を考えるよりも、「その人しかできない体験がその人を作っていく」という基本を大切にされると良いのではないでしょうか。すべての方におすすめの体験や学習というものを定義せず、本人が出会ったことを見守っていくという気持ちがご家庭を明るくしますし、長続きすると考えています。

さらに、生徒さんを見ていると「"好き"を突き詰めていること」は大きな強みだと感じます。スポーツでもゲームでも絵を描くことでも、それがあることによって物事への向き合い方を自然と身に付けているからです。自ら調べて知識を吸収したり、気の合う友達と一緒に技術を磨いたり、うまくいかなくても何度も挑戦したり、そういった経験が心の成長を促していきます。これは日本でも同じだと思いますが、海外では好きな気持ちが自分を救うことも多いと感じます。ですから、まずはさまざまな体験をして、自分の興味・関心の幅を広げていくことが内面の豊かさに結びついていくのではないかと思います。

個別指導 WAO シンガポール　川中 大和先生

❶学力だけでない入試の導入による社会や進学への影響

従来型のペーパーテストでは測ることができなかった能力を評価することにより、より多様で多彩な人材が活躍できる時代になるでしょう。これまで評価することが難しかったコミュニケーションスキルやリーダーシップなど実社会で必要とされる、より実践的な能力が評価されることにより社会の活性化が期待されます。

このような社会の変化に対応するためには、「自分の強み」が何かをしっかりと捉えて、それを伸ばすことを求められます。また経験のないことでも積極的に取り組み、自分の世界を広げていく積極的な姿勢が大切です。

進学についても従来型の進学・就職実績などに注目する姿勢から、「どのような教育プログラムを実施しているのか?」「その結果としてどのような成長が得られるのか?」に注目する必要があります。お子様の一生に関わる事柄ですから、しっかりと見極めてほしいと考えます。

反面、実践的な能力が重視される社会になると、教養を軽視しがちになります。「WEBで検索すれば良い。」「生成系AIを活用すれば良い。」このような姿勢は、物事の表面だけを見て判断し、本質を捉えることを難しくしてしまいます。このような時代だからこそ、きちんとした教養を身に付け、自分自身の考え方を構築する能力を持つことが重要です。

❷シンガポールでどのようなことをしていくべきか

「異文化理解の大切さ」…シンガポールでは学校や習い事などで、自分とは異なる文化をバックボーンに持つ方が多くいらっしゃると思います。例えば「時間」に対する考え方だけでも、ストレスを感じたことがある方も少なくないでしょう。そこで怒るのではなく、なぜ相手がそのように行動するかを理解しようという姿勢を保つ必要があります。その上で自分の姿勢を相手に伝える姿勢を取る必要があります。また、シンガポールには多彩な文化施設がありますので、意識して訪問することも良い取り組みです。

「課外活動への参加」…学校での学習だけでなく、スポーツや芸術活動などに取り組むことが大切です。集団で行うもの、個人で行うもの、できれば両方に取り組むとなお良いでしょう。このような活動で学んだことは、コミュニケーション能力の向上やリーダーシップの形成などに役立ちます。

「家族とのふれあいの時間を持つこと」…ご家族で美術館や博物館、科学に関するイベント、旅行など、ご多忙とは存じますがご家族でお出かけになったり、一緒にスポーツに取り組んだりなどご家族の時間をぜひお持ちください。このようなふれあいの中でお子様の興味・関心を知り、応援していただくことでお子様の可能性が広がっていきます。

さつき学園シンガポール　木村 美絵先生

さつき学園シンガポール

❶学力だけでない入試の導入による社会や進学への影響

例として学校側は、生徒の学力だけを見るのではなく、受験生が「課題を発見し、解決する力」「他人と協働する力」「主体的・自律的に行動する力」など「どんな力を持っていてほしいか」や、将来の目標に向けた「地域社会の発展に貢献したい人」「グローバル社会での活躍を志す人」、「SDGs」(Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標))などに関する問題意識などを小論文やプレゼン、またディベートなどを通して求められる場合があります。

このようなスキルは、学力で測ることがなかなかできません。そのため、受験生は主に課外活動から得ることになると思います。具体的には「部活、探究、ボランティア」活動などです。『それらの活動を通して自分はどんなこと考え、感じたか。どんなことに気づいたか。今後、どうしていきたいか…』と深めていくことがとても大切な作業になります。そして、今後どうしていきたいのか、と考える過程で生まれる『問い』がとても大切になります。

自分のなかに『問い』を立て、その『問い』について思考を深めていける人、一歩踏み出して行動できる人は、進学先の学校や、シンガポールのような多様性な社会で、より求められる人材に成長することができると本校は考えます。

❷シンガポールでどのようなことをしていくべきか

東南アジア諸国で世界をリードするシンガポールは、ハイテク企業、研究機関、またファイナンスなど、世界各国からさまざまなバックグラウンドを持つ人々が働いている国です。

本校でも、多種多様なバックグラウンドを持ちながら、日本に何かしらルーツを持つ生徒が世界中から集まり、集団で日本語・国語・算数の学習をしています。

本校の授業では、ペーパーテストの点数ももちろん大切していますが、ディベートなどの授業を通して、一人ひとりの考えの違いを知り、受け止め、自分はどのように考えるか表現することを大切にしています。

多種多様な人種が集まるシンガポールでは、バスに乗るだけでも、聞こえる言葉は英語だけではなく、日本語をはじめ、北京語、広東語、ドイツ語、フランス語、インドネシア語、マレー語、韓国語など、実にさまざまです。

話す言葉が違えば、その分、文化の違いや信仰する宗教、表現する方法も千差万別です。日頃から、こんなにも文化の違いを身近に感じられるのは、多民族国家のシンガポールならではの経験だと思います。その中で、自分は何を極め、そしてどのように社会に貢献していくのかを、常日頃から意識し、考えることが大切だと本校は考えます。

WAM 個別進学塾　南方 健一先生

WAM 個別進学塾

❶学力だけでない入試の導入による社会や進学への影響

入学後に専門分野を深めていくこととなるので、入学時に一定のプレゼンテーション能力や面接での応対能力、専門分野を志す高い関心があることなどが求められます。

卒業後には日本語だけでなく英語など、複数言語による語学運用力を身に付けていることが見込まれますし、広い視野・素養をもったグローバルに社会貢献できる世界に目を向けた人材として育成されることでしょう。諸問題に対し社会全体を広く俯瞰して特定の世界に捕らわれず問いを立てて解決に導く能力によって、さまざまな分野で貢献できると考えます。

❷シンガポールでどのようなことをしていくべきか

現行のシンガポールでの教育にあるように、実際の学びは座学だけではなく実践的に行われることが望ましいと考えます。

左記のプレゼンテーション能力や面接での応対能力は、その最たるものといえるでしょう。また、特定の考えに拘泥せず、シンガポールに集う多彩な背景をもつ人々と交流することで、より多くの考え方・価値観なども学べるはずです。シンガポール内外にいるさまざまな人間と対話して生徒の自主的な挑戦を促すことが教育の原点にあるべきだと考えます。ペーパーテストにおける知識や技術を定着させることも当然ながら、実践につながる生きていく力を身に付けることを重視していただきたいと思います。

- Let’s have your aim high! -